



地域協議会

「うらほろスタイル」によるまちづくりの第四の柱「若者のしごと創造事業」の「商品開発プロジェクト」「まちなか農園プロジェクト」で、町の花ハマナスの栽培がスタートします。

ハマナスは、北海道の海岸部を代表する植物で、ピンクの美しく良い香りのする花と、真っ赤な実がなることで知られています。香水やジャムの原料として活用されています。浦幌でも町の花となつていているほか、特別養護老人ホームの名前になるなど、親しまれています。

うらほろスタイルの取り組みの中では、浦幌中学校生徒のまちおこしプレゼンテーションをはじめ、子どもたちから高い関心が示され、キャラクター「うらは」の髪飾りに使われているほか、昨年度からは小学校での植栽が行われています。こうした思いを活かし、「まちなか農園」でハマナスを栽培し、特産品の商品開発を行うって雇用創出につなげる計画です。今後、様々な機会で町民の皆さんにご協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願ひします。(うらほろスタイル推進

まちなか農園で ハマナス栽培を



地域おこし
協力隊

島山
裕泉

活動状況報告



先月号でご紹介させていただいた「若者のしごと創造事業」の「まちなか農園プロジェクト」において、ハマナスの栽培を検討しています。浦幌町の子どもたちの提案に多くあったハマナスを活用した商品の開発・販売にもつなげていけたらということで「ハマナス」を栽培しようとなりました。

ただ、ハマナスは通常は海岸線沿いに自生しているのので、栽培をしようとなってもまずはどのように栽培したらいいかわからず、そこから調査することになりました。

5月から泉さんと島山でハマナスの栽培方法について電話でヒアリングをしたり、栽培地直接行かせていただき調べております。現在までに帯広市の真鍋庭園さん、石狩浜海浜植物保護センター、北見市のはまなす栽培地に視察・調査に行かせていただきました。

ハマナスには通常私たちがよく見ている一重のタイプ以外に八重があること、色もピンクだけではなく白色もあること、商業用に適した品種など教えていただきました。

また、北見市の北見工業大学では以前、ハマナスについて研究がされており（現在は終了されています）、その際に地元の農家さんにハマナスの栽培を依頼してありました。

浦幌町と同じく商品化を目指してハマナスの栽培に10年以上も前から取り組まれていたそうで、そちらで苗を植える間隔、植える時期、栽培に関しての注意点、ハマナスの花びらの収穫方法なども伺いました。また、当時大学でハマナスの研究されていた金澤勉さんに研究内容やハマナスの成分・効能についてもお話を伺いました。

お話を伺った皆さんがもっと北海道の道花でもあるハマナスを広めたいとおっしゃっていて、快く栽培について教えてくださったり、資料を提供してくださったり本当に有り難いです。ハマナスのことを知ってほしい、広めたい地域と連携しながら今後もプロジェクトをすすめていけたらと思いました。

(地域おこし協力隊員 島山裕恵)



企業組合北見産学医協働センターの金澤さんに当時の研究についてやハマナスの成分・効能についてお話を伺ったときの写真です

●地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ

☆北海道浦幌町地域おこし協力隊

⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>